



田川から虎御前山の桃酔谷付近を望む(写真右上)。虎御前山城跡登り口(右下)。中野地区の専宗寺の隣にある世々開長者疏水遺功碑(左)。



虎 姫

伝説と歴史の舞台を歩く

姫は蛇の化身!? 虎御前と世々開長者の物語

DATA 長浜市
 ● 歩行距離▶約5km
 ● 歩行時間▶約100分

湖北の平野部に南北に横たわる虎御前山(標高約2300m)は、歴史上の二つの戦の舞台となった。南北朝時代に足利尊氏と弟直義の軍が争った八相山の戦い(南尾根は別に八相山と呼ばれていた)、そして200年後、織田信長が浅井長政の小谷城攻撃の際に最前線基地として砦を築いた場所でもある。陣地跡をめぐるハイキングコースもある。

この虎御前山は、虎姫の地名のおこりとなった山で、この山の桃酔谷に住む虎御前という美しいお姫様の伝説に由来する。姫はこの地に住む世々開長者と結婚し、子を身籠るが産まれてきたのはなんと15匹の小蛇。蛇の化身であつたわが身を嘆き、姫は山の東にある女性淵に身を投

虎御前山の南尾根にある矢合(やあい)神社の祭神は葦那陀迦神(あしなだかのかみ)。葦の生える水辺を司る神様だ。この地は古くから水利に恵まれなかったため水神が祀(まつ)られたという。世々開長者の「せせらぎ」も水の豊かさを表す語であると由緒碑に記されている。



矢合神社

じてしまふ…。

この伝説に登場する世々開長者は、村の水不足を憂い、私財を投げ打って高時川から水を引く大事業を行った人物だが、実在したかどうかはわからない。ただ、中野地区にはこの功績を顕彰する世々開長者疏水遺功碑が立っている。雨乞いや水不足、飢饉にま

つわる伝説には、竜や蛇がよく登場する。世々開長者の物語も伝承されていく中で、蛇の化身である虎御前の物語が生まれてきたのではないだろうか。

JR虎姫駅から虎御前山までは徒歩で15分ほど。史跡をたどって伝説と歴史に彩られた山を散策してみよう。



- モデルコース**
- JR虎姫駅 12分
 - 世々開長者疏水遺功碑 3分
 - 虎御前山登り口 15分
 - 桃酔谷付近 15分
 - 虎御前山登り口 5分
 - 矢合神社 3分
 - 岩上神社 10分
 - 虎姫時遊館 15分
 - JR虎姫駅 15分
- ※移動時間はあくまでも目安です。
 ※虎御前山ハイキングコース(伝信長陣地跡往復)は約1時間

“Walk on”とは
 「歩き続ける」という意味の他に、舞台をちょっと歩くだけの通行人のような「端役」の意味があります。多彩な伝説や物語をもつ歴史豊かな「近江」という舞台を、登場人物のひとりになった気分で歩いてみてはいかがでしょうか。

バックナンバーをKEIBUNホームページ「湖国滋賀ウォーキングマップ」で公開中!
<http://www.keibun.co.jp>

※滋賀県の地誌「近江輿地志略」では桃須谷